

OXIDE

株式会社オキサイド

2025年2月期第2四半期 決算補足説明資料

(6521 東証グロース)

2024年10月15日

Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

決算補足説明資料に基づいて、ご説明させていただきます。

- 01 2025年2月期 第2四半期決算ハイライト
- 02 連結業績
- 03 事業別業績 半導体・ヘルスケア・新領域
- 04 質疑応答

こちらが本日のアジェンダとなっております。

2025年2月期 第2四半期連結業績

売上高
2,010百万円

前年同期比 +46百万円
予想比 +42百万円

営業利益
9百万円

前年同期比 +73百万円
予想比 +1百万円

EBITDAマージン
14.0%

前年同期比 +4.4%
予想比 +0.4%

- 売上高、営業利益、EBITDAマージン、全て予想を上回り、前々期4Q以来の黒字転換しました。
- 半導体事業、ヘルスケア事業、共に通期予想に対して概ね堅調な進捗です。
- 新領域事業に関しては、イスラエル紛争の長期化を受けて、足元及び業績見通しは不透明感を増しています。

※2024年2月期第4四半期にて、Raicol社の子会社化に伴うPPAの確定により、取得原価の配分を見直しました。
このため、2024年2月期第2四半期および第3四半期の数値は、遡及後のものとなっております。

Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

3

それでは、まず初めに第2四半期決算ハイライトについてご説明いたします。

売上高、営業利益、EBITDAマージン、全て予想を上回り、前々期第4四半期以来の黒字転換しました。

半導体事業、ヘルスケア事業、共に通期予想に対して概ね堅調な進捗です。

新領域事業に関しては、イスラエル紛争の長期化を受けて、足元及び業績見通しは不透明感を増しています。

事業毎の詳細については、後ほど順にご説明させていただきます。

2025年2月期 第2四半期実績

OXIDE

■ 売上高は、予想19億6,800万円対比4,200万円増の20億1,000万円となりました。

■ 営業利益は、予想800万円対比100万円増の900万円となり、前々期4Q以来の黒字転換となりました。

(百万円)	FY25/2月期 1Q			FY25/2月期 2Q			FY25/2月期 上半期			通期
	予想	実績	増減	予想	実績	増減	予想	実績	増減	予想
売上高	1,514	1,388	▲ 126	1,968	2,010	42	3,482	3,398	▲ 84	8,553
営業利益	▲ 270	▲ 406	▲ 135	8	9	1	▲ 262	▲ 396	▲ 133	202
(営業利益率)	▲17.8%	▲29.3%	-	0.4%	0.5%	-	▲7.5%	▲11.7%	-	2.4%
研究開発費	354	315	▲ 38	363	311	▲ 52	718	627	▲ 91	1,469
設備投資額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,464
EBITDA※	▲ 16	▲ 144	▲ 128	268	280	12	252	136	▲ 116	1,259
(EBITDAマージン※)	▲1.1%	▲10.4%	-	13.6%	14.0%	-	7.3%	4.0%	-	14.7%

※ EBITDA：営業利益に償却費（減価償却費・のれん償却等を含む）を加えた数値

Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

4

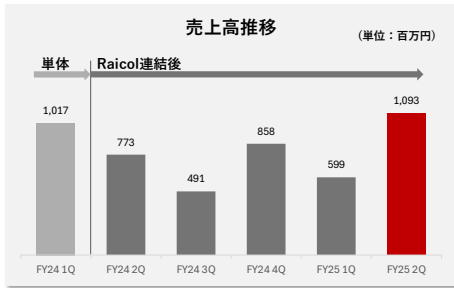
次に第2四半期の決算概要です。

売上高は、予想19億6,800万円対比4,200万円増の20億1,000万円となりました。

営業利益は、予想800万円対比100万円増の900万円となり、前々期第4四半期以来の黒字転換しました。

- 半導体事業の売上高は、予想11億3,100万円対比3,700万円未達の10億9,300万円となりました。
- 10億9,300万円は四半期の売上高で過去最高です。

(百万円)	FY25/2月期 1Q			FY25/2月期 2Q			FY25/2月期 上半期			通期
	予想	実績	増減	予想	実績	増減	予想	実績	増減	予想
売上高	749	599	▲ 149	1,131	1,093	▲ 37	1,880	1,693	▲ 186	4,425



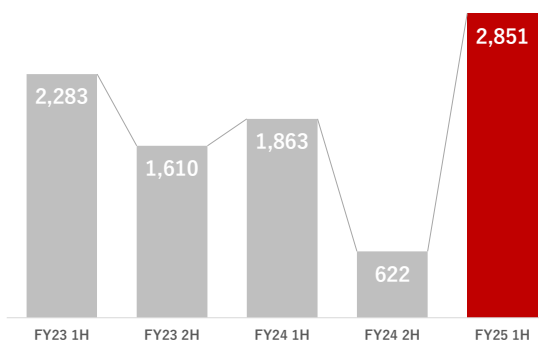
続いて、事業別実績をご説明いたします。まずは半導体事業です。

第2四半期の売上高は、予想11億3,100万円対比3,700万円未達の10億9,300万円となりました。

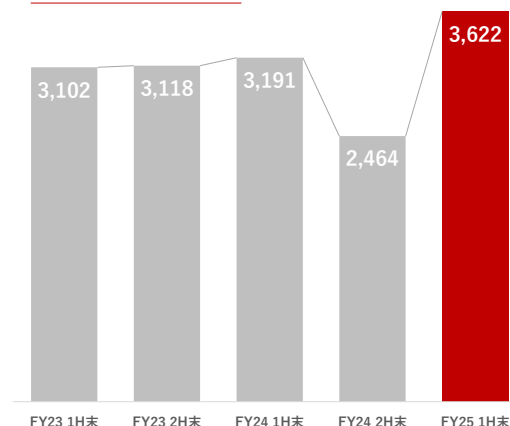
四半期の売上高では過去最高で、前期の営業赤字主要因であった一部部材不具合問題から回復傾向にあります。

- 上半期の受注高は、28億5,100万円となりました。
- 上半期末時点の受注残高は、36億2,200万円となりました。

受注高 (単位：百万円)



受注残高 (単位：百万円)



Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

6

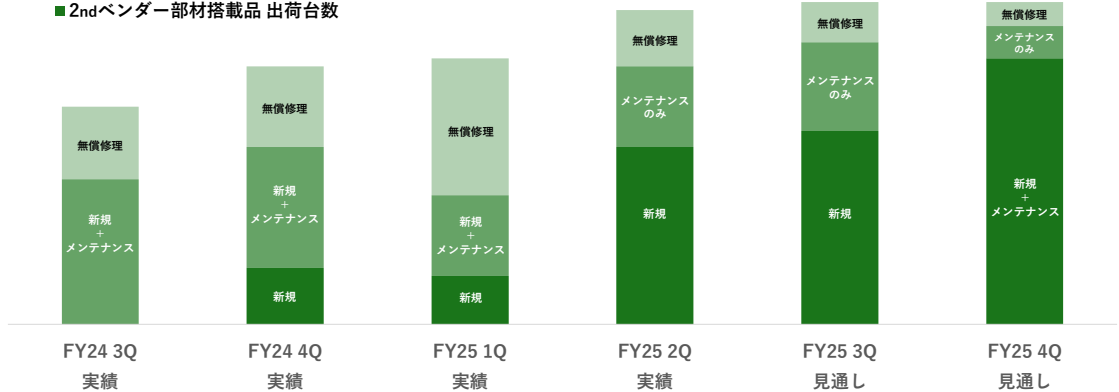
受注高についてご説明いたします。

上半期の受注高は、予想20億円対比8億5,100万円増の28億5,100万円となりました。

上半期末時点での受注残高は、36億2,200万円となりました。

- ファーストベンダーからセカンドベンダーへの部材の切り替えは順調に進んでおります。
- ファーストベンダー部材搭載品無償修理台数は減少し、売上に寄与する出荷台数が増加しました。

- 1stベンダー部材搭載品 無償修理台数
- 1stベンダー部材搭載品 出荷台数
- 2ndベンダー部材搭載品 出荷台数



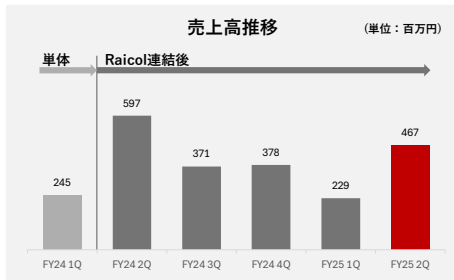
レーザ製品の出荷台数内訳の推移についてご説明いたします。

ファーストベンダーからセカンドベンダーへの部材の切り替えは順調に進んでおります。

また、ファーストベンダー部材搭載品無償修理台数は減少し、売上に寄与する出荷台数が増加しました。

- ヘルスケア事業の売上高は、予想2億5,700万円対比2億1,000万円増の4億6,700万円となりました。
- がん診断PET装置向けの新規顧客を獲得し、売上の増加につながりました。
- 将来需要が期待される脳PET装置向けも継続的に引き合いがあります。

(百万円)	FY25/2月期 1Q			FY25/2月期 2Q			FY25/2月期 上半期			通期
	予想	実績	増減	予想	実績	増減	予想	実績	増減	予想
売上高	188	229	41	257	467	210	445	696	251	1,600



続いて、ヘルスケア事業についてご説明いたします。

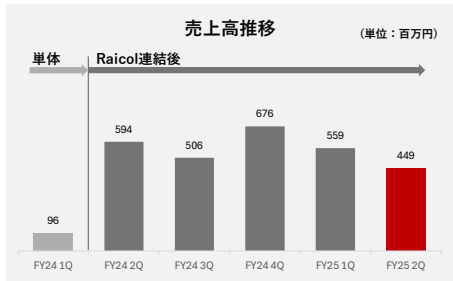
第2四半期の売上高は、予想2億5,700万円対比2億1,000万円増の4億6,700万円となりました。

がん診断PET装置向けの新規顧客を獲得し、売上の増加につながりました。

また、将来需要が期待される脳PET装置向けも継続的に引き合いがあります。

- 新領域の売上高は、予想5億7,900万円対比1億3,000万円未達の4億4,900万円となりました。
- イスラエル紛争の長期化を受けて、Raicol社の足元及び業績見通しは不透明感を増しています。

(百万円)	FY25/2月期 1Q			FY25/2月期 2Q			FY25/2月期 上半期			通期
	予想	実績	増減	予想	実績	増減	予想	実績	増減	予想
売上高	577	559	▲ 18	579	449	▲ 130	1,157	1,008	▲ 148	2,527



製品販売中の市場

- 宇宙・防衛
- 先端光計測
- 美容
- 光学部品

中長期的な市場

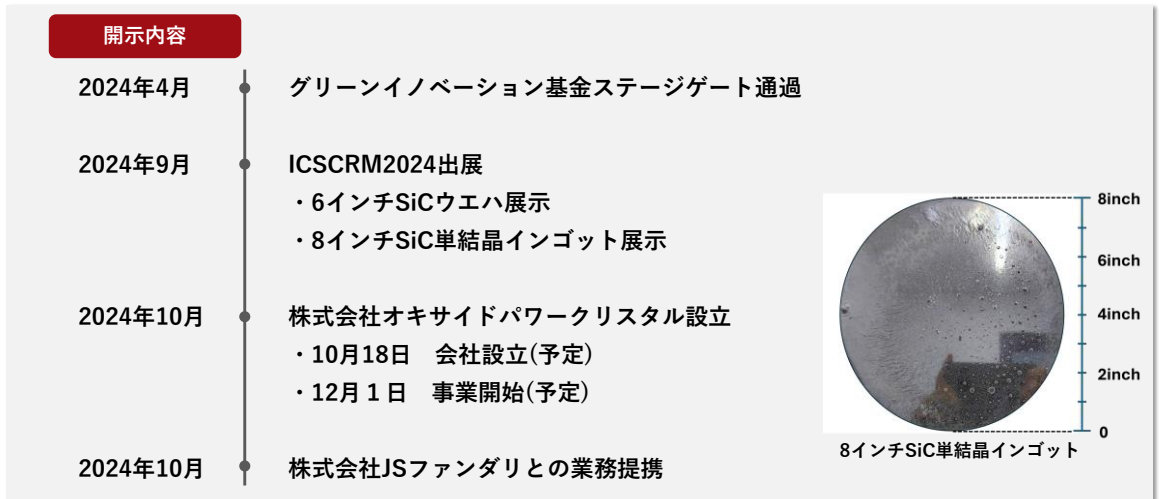
- パワー半導体
- 量子
- データセンター
- スマートグリッド

次に、新領域事業についてご説明いたします。

第2四半期の売上高は、予想5億7,900万円対比1億3,000万円未達の4億4,900万円となりました。

イスラエル紛争の長期化を受けて、Raicol社の足元及び業績見通しは不透明感を増しています。

■ 溶液法SiCウエハの量産開発は、着実に進捗しています



SiC事業についてご説明いたします。

溶液法SiCウエハ量産開発は着実に進捗しています。

本年4月には、グリーンイノベーション基金ステージゲートを通過し、新たに事業戦略ビジョンを公表しました。

本年9月には、SiC材料関連国際学会ICSCRM2024（アイスクリーム2024）に出展し、6インチSiCウエハと8インチ単結晶インゴットを展示しました。

10月4日には、子会社「株式会社オキサイドパワークリスタル」設立を開示しました。本子会社は、10月18日に会社設立し、12月1日より事業開始します。

また、10月9日には、SiC製造バリューチェーン構築のために、国内初の独立系ファンドリ専門企業である株式会社JSファンダリとの業務提携を開示しました。

- 総務省や文部科学省の国家プロジェクトにより、量子暗号通信などの開発が進展しています。
- Raicol社と共同で、自社製波長変換素子を搭載した「量子もつれ光源モジュール製品」を開発しています。
- 量子暗号通信や量子センシングで期待される高効率な「もつれ光子対」の発生光源として注目を集めています。



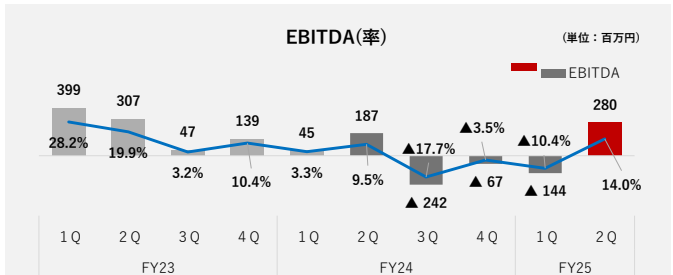
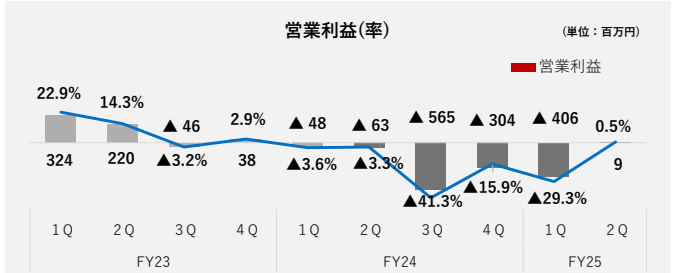
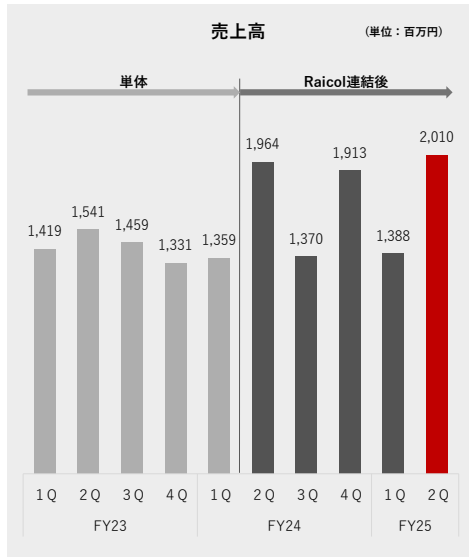
次に、量子関連技術についてご説明いたします。

総務省や文部科学省の国家プロジェクトにより、量子暗号通信などの開発が進展しています。当社では、Raicol社と共同で、自社製波長変換素子を搭載した「量子もつれ光源モジュール製品」を開発しています。

量子暗号通信や量子センシングで期待される高効率な「もつれ光子対」の発生光源として注目を集めています。

Appendix

Appendix 財務トレンド



※2024年2月期第4四半期にて、Raicol社の子会社化に伴うPPAの確定により、取得原価の配分を見直しました。このため、2024年2月期第2四半期および第3四半期の数値は、遡及後のものとなっております。

当社は**単結晶・レーザ**の
グローバルニッチトップカンパニーを目指します

- 研究成果を社会に還元し、**キーマテリアル**を世界に向けて発信する
- 顧客へ**マテリアルソリューション**を提供し、社会の発展に貢献する
- 単結晶を核とした製品を開発し、**未来の市場機会**を創造し続ける





OXIDE

<https://www.opt-oxide.com>

ディスクレイマー

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の想定及び所信に基づく見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。

実際の業績に影響を与えるリスクや経済動向、業界需要などの不確定要因を含んでいます。

当社の見込みと実際の業績は異なる場合があります。ご了承ください。

本資料に記載された金額は表示単位未満を切り捨て処理、比率は表示単位未満を四捨五入処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。
2024年2月期第4四半期にて、Raicol社の子会社化に伴うPPAの確定により、取得原価の配分を見直しました。このため、2024年2月期第2四半期および第3四半期の数値は、遡及後のものとなっております。